

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月27日

計画の名称	伊丹市における災害時の拠点となる公園づくり（防災・安全）														
計画の期間	令和０５年度　～　令和０６年度　（２年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	伊丹市														
計画の目標	屋外での避難場所の確保のため、緑ヶ丘公園として都市計画決定している市有地を整備することにより、防災機能の強化を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R6末
1	緑ヶ丘公園の整備によって災害時に避難が可能となる人数を3,500人→3,622人にする。 災害時に緑ヶ丘公園に避難が可能となる人数の増加	3500人	人	3622人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	伊丹市	直接	伊丹市	-	-	都市公園事業	緑地および広場整備 A=0.04 ha	伊丹市	■	■				6	15.48	-	
												小計						6		
											合計						6			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊丹市公園事業関連部局において評価を実施。	令和5年度
	公表の方法
	伊丹市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	広場を整備したことにより、災害時に避難が可能となる人数を増加させることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	3622人	現場状況に合わせた施工により広場の整備面積が増加したため、目標値より実績が上回った。
	最 終 実績値	3636人	